

新しい年を迎えた。今月のテーマは、

子どものお年玉どうしてますか？

これを提案したのは、私だと思います。ひとりの方からお返事を頂くも、それなりだったので、少しあみしく思っていたところ、1年越しで取り上げて頂けることを大変うれしく思っています!!ありがとうございます!!どんな内容か、今からワクワク楽しみです。

むつ市
Y・Tさん

そもそも
お年玉って？



もうった
お年玉どうしてる？



貯金や子どもに自己管理させるなど家庭によって様々でした。

また、子どもの頃に親に使われてしまったという投稿もあり、子どもと使い方や管理状況などの確認をすることも重要なと思いました。

お年玉を
あげる時



現代では、お正月に、お金をポチ袋にいれて自身の子どもや孫、親戚の子どもに渡すことが主流となっています。しかし元々は、お餅をあげていたそうです。

なぜお餅だったかというと昔、年末にお迎えした年神様から1年分の新しい「魂」が与えられると考えられていました。(元旦に一斉に年をとる「数え年」の考え方はここからきているそうです。)そのため、新しい「魂」を餅

玉に宿らせ、その餅を食べることで「魂」を取り込めると考えられています。この餅を「年魂」(としま)と呼び、それを家族に分ける際に「御年魂」、「御年玉」として分けた説や年の賜物(たまもの)で「年賜」という説があります。

昭和30年代の高度経済成長以後、核家族化の進行などにより、餅を作る習慣が薄れ、今のようにお金をお年玉として渡すことが主流になつたと言わ

業後に使わなくなる子どもの制服やランドセルなどの学用品をどうすれば良いか悩んだことがある方はもちろん、これから悩むかもという方もいると思います。そこで今回は、「使わなくなった学校の制服・学用品どうしましたか?」をテーマに、体験談(思い出にとつてあるや、リメイクしたなど)や悩んだ・悩んでいることなどを募集します。

○自己管理

青森市 K・Nさん

子ども(小学三年生、女の子)におこづかいをあげ始めました。まわりのお友だちも、おこづかいをもらっているそう。そこで、お年玉

も自分で管理させようと思います。これを買つたら、こつちは買えないとか、ガマンや、どうお金を使えばいいかなど考えてほしいです。あまり物欲のない娘ですが、上手にお金を使ってほしいです。

八戸市 W・Sさん

○ちょっととした疑問

青森市 「ふらわー」さん

こちらも様々、あげる子の状況に合わせたり、20才までだったりしていました。高校・大学の卒業までという学年を基準としたり、親戚間でルールを設けたりしているご家庭もあると思います。

本、自分の子ども2人にしかお年玉はあげていません。1人は成人(20代)しているのですが、アルバイトの身なのでお年玉だけはあげていません。今どきは、成人している子もいます。今どきは、成年している子もいます。今どきは、成年している子もいます。

昭和30年代の高度経済成長以後、核家族化の進行などにより、餅を作る習慣が薄れ、今のようにお金をお年玉として渡すことが主流になつたと言われています。

青森県の方言では「まっこ」(お年玉、おまけの意味)という言葉があり、「まっこ市」(黒石市の旧正月の行事)の由来となっています。

子どものお年玉は全部貯金です。お正月に何か欲しい物があれば、お年玉の範囲内で買いますが(1つ)、それ以外は全て将来の為の貯金です。

三沢市 Y・Iさん

○何かあれば

八戸市 Y・Oさん

お年玉は20才まで

孫のお年玉と甥のお年玉をあげています。甥たちは全員20才までとしていました。全員20才過ぎたので孫だけです。学年で区別してあげています。

新郷村 N・Sさん



はばたき宛て
メールフォーム
こちらからも投
稿できます。

*今回の「組合員の交流コーナー」は、「はばたき」レポーターとのご協力と、皆さんからの投稿で、紙面を作成しています。ご協力ありがとうございます。

宛先 おハガキの場合、〒038-00012 青森市柳川二丁目4-22 コープあおもり本部広報担当宛て Eメールの場合は、habataki@coopao.comまでお寄せください。パズルの応募と一緒にでも丈夫ですので、よろしくお願いします。

はばたき3月号のテーマは「使わなくなつた学校の制服・学用品どうしましたか?」です。